

イチから覚える

サウンドライナー

～副音声製作システム～



2014.01
Ver 1.2 準拠

まえがき

映画や映像などのバリアフリーを考えた場合、字幕、あるいは副音声などの対応が必要になります。

実際に、市民活動などで、このような活動を行う場合には高価なシステムを使うことなく、作品を完成できれば、バリアフリー上映の場を増やすことが可能になるでしょう。

このマニュアルでは、副音声を簡単につけることができる「サウンドライナー」というソフトをつかって、副音声対応をある方法を説明します。

この本をお読みの皆様、ぜひバリアフリー社会の実現にむけてみんなで実現しようではありませんか。

目次

0. 作業の手順
1. インストール
2. 副音声台本の入力
3. 音声の吹き込み方
4. タイミングの合わせ方
5. 最終確認
6. マスタ音声の作成

STEP 0

作業の手順

ねらい

副音声はどのようにつけていけばよいかを学びます。

副音声って何ですか？



灰色の猫が足を折り曲げ、
静かに座っている

副音声とは、演者の表情や行動など、音声情報では得られない情報を、音声として提供する「情報取得支援」の仕組みのことを言います。テレビで通常放映される主の音声モードから切り替えないと通常は聞こえないため、「副（サブチャンネル）」の音声→副音声 と呼ばれます。

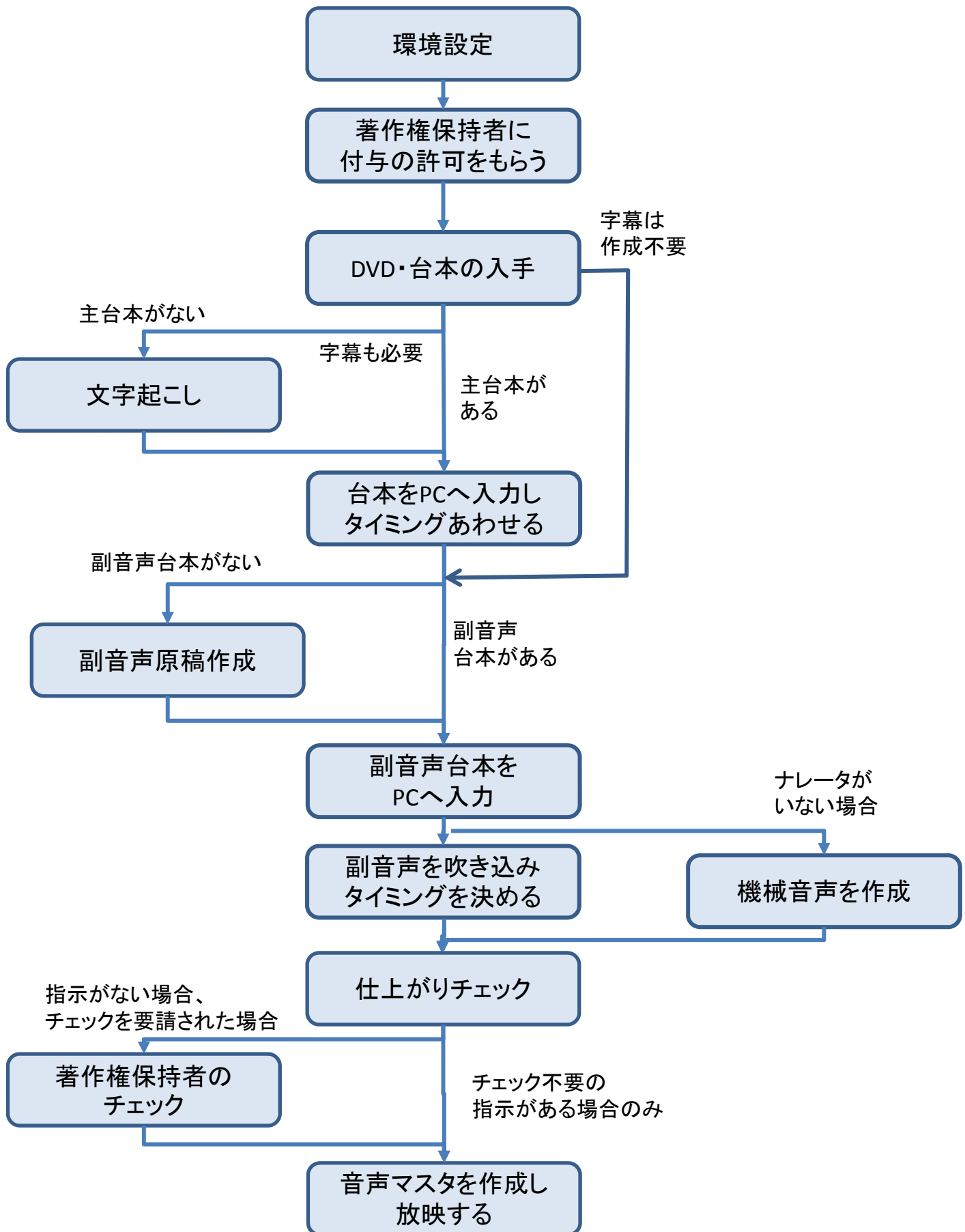
今日では、テレビなどでも、テレビ欄に【副】などと表示され、容易に聞くことができるようになってきました。

この副音声ですが、自分たちで行う演劇をはじめ、大きな配給会社を通さない映画、自主作成映像などでは副音声がついていないことが多くあります。

そこで、今回は 簡単につけるためのシステム「サウンドライナー」をつかって、付与する手順を学んでみましょう。

作業手順

大まかな作業手順は、次のように行います。



シーンごとに必要なもの

通常、下記のようなものを用いて製作します。

【文字起こし（主字幕作成）】

- ・DVD再生機能がついたパソコン
- ・映像素材（DVD、映像ファイル）
- ・字幕作成用ソフト（おこ助 *1）

【副音声台本作成】

- ・DVD再生機能がついたパソコン
- ・映像素材（DVD、映像ファイル）

【タイミング合わせ】

- ・DVD再生機能がついたパソコン
- ・ソフト（サウンドライナー）
- ・映像素材（DVD、映像ファイル）

【音声録音】

- ・マイク
- ・録音端子がついているパソコン
- ・録音室（無響室）
- ・ミキサーなどの音響設備

【マスター作成（ミックスダウン）】

- ・DVD焼きこみ機能がついたパソコン
- ・メディア（DVD、CD等）
- ・ソフト（RadioLine）

STEP 1

インストール (導入)

ねらい

この章では、副音声の作成に必要なソフトウェアが使える環境を構築します。

① インストールディスクに入っているソフトウェアを起動します。

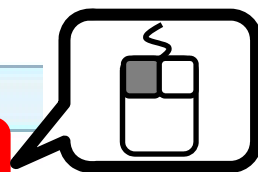
名前

Application Files

autorun.inf

setup.exe

SSChanEdit.application

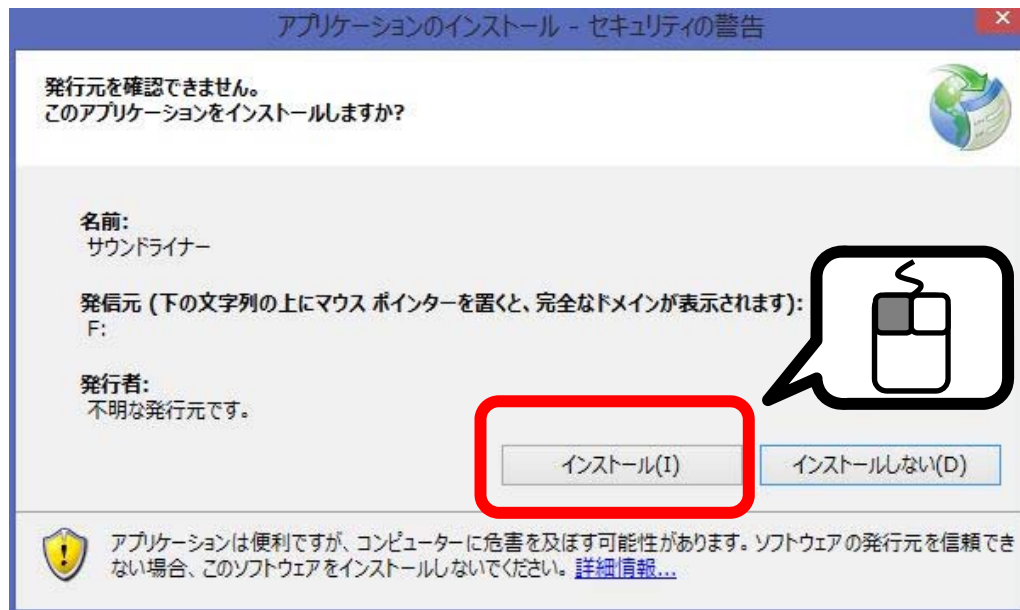


CD-ROMを挿入した時点で、自動的にインストールが行われる場合があります。

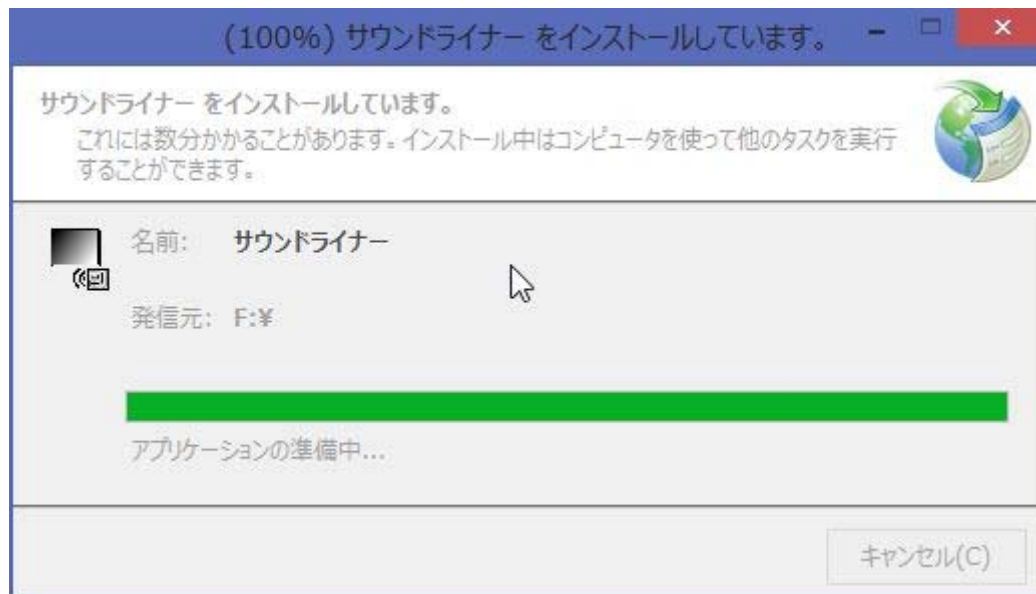
これは、パソコンの設定によります。

2

インストールの確認が出るので、インストールします。

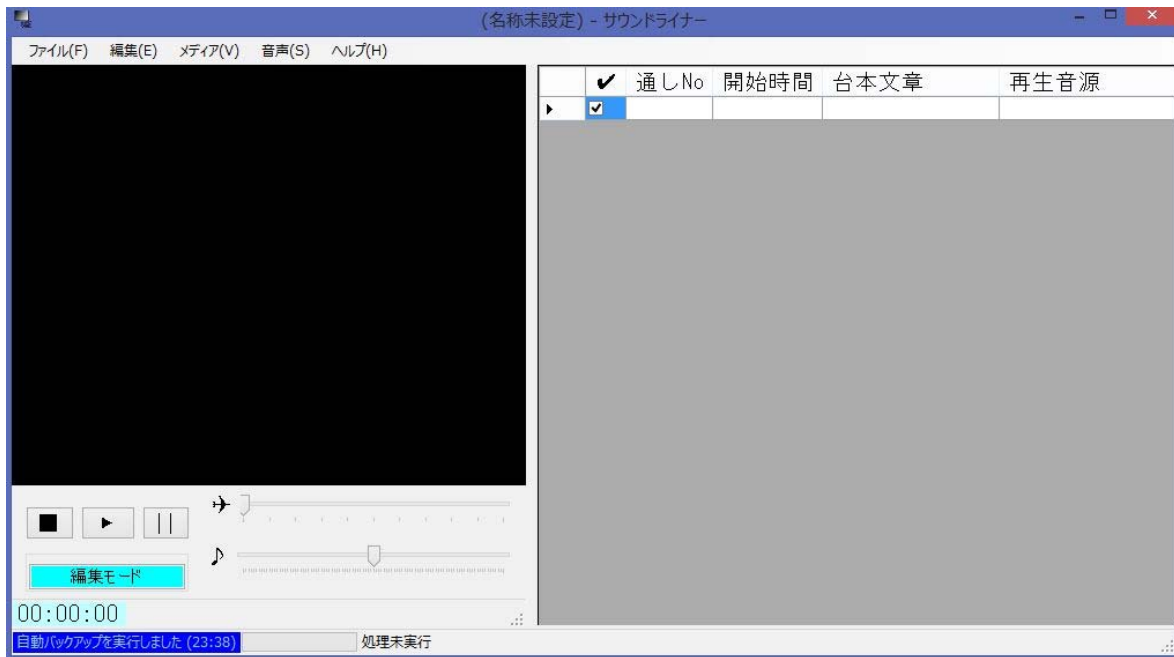


※インストールは、自動的に行われます。
導入場所は、Windowsが判断します。



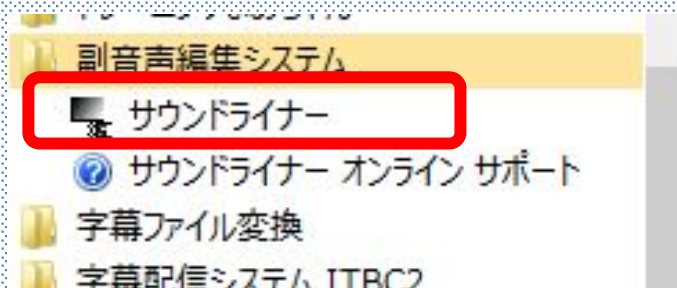
3

インストールが完了すると、ソフトが起動します。



今後、起動するには？

スタートメニューから、サウンドライナーを選びます。



STEP 2

副音声台本の入力

ねらい

副音声の台本を作成し、入力する方法を学びます。

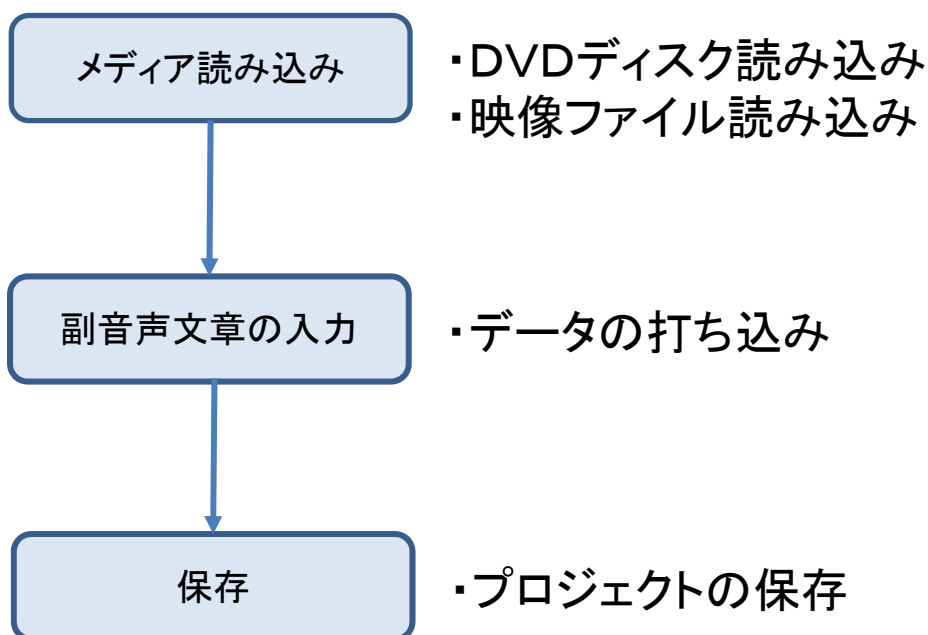


このマニュアルでは、「どのような台本をつくれればいいか」という部分には触れません。

この部分を勉強したい方は、NPO法人 メディア・アクセス・サポートセンターのマニュアルなどを参照してください。

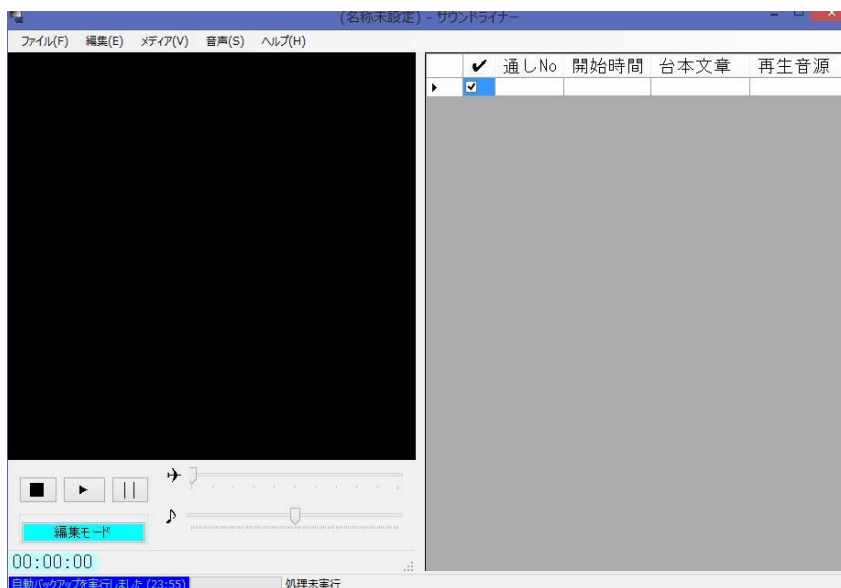
■ 副音声台本の入力手順

副音声は次の手順で進めます。

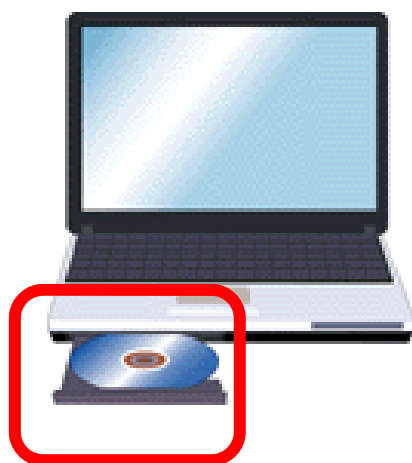


■ DVDディスクを読み込む

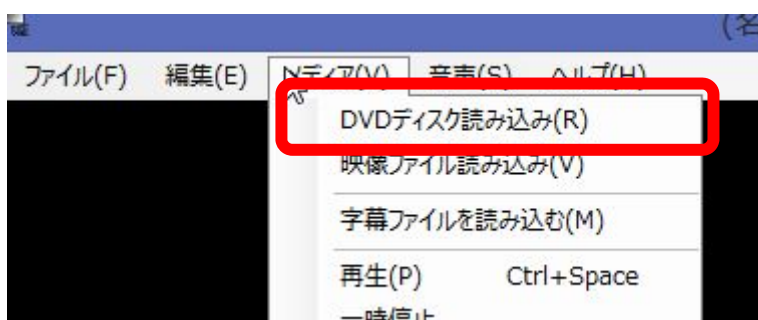
- 1 サウンドライナーを起動します。



- 2 パソコンにDVDディスクを入れます。



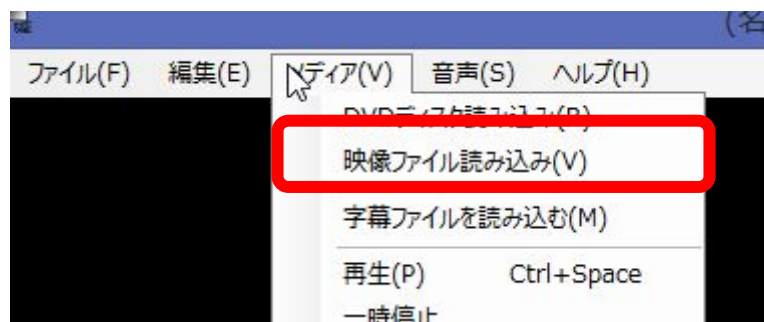
- 3 ディスクを読み込みます。



■ 映像ファイルを読み込み

DVDを使わない場合は、映像ファイルを読み込みます。

- 1 ファイルを読み込みます。



■ 副音声文章の入力

- 1 入力する枠をダブルクリックします。



- 2 データを入力します。



■ 入力データの種類

	✓	通しNo	開始時間	台本文章	再生音源
▶	✓				

【レ】

このデータが副音声として有効なデータかどうかを選びます。
一時的にこの行を無効にある場合は、このレ点を外してください。

【通しNo】

副音声台本のデータ番号です。
音声を吹き込む際に、この通しNoの情報を元に管理します。

基本的には、すべての行の通しNoが重複してはいけません。

【開始時間】

この行の音声を再生し始める時間を設定します。
副音声台本を入れる時点では、この時間入力は不要です。

【台本文章】

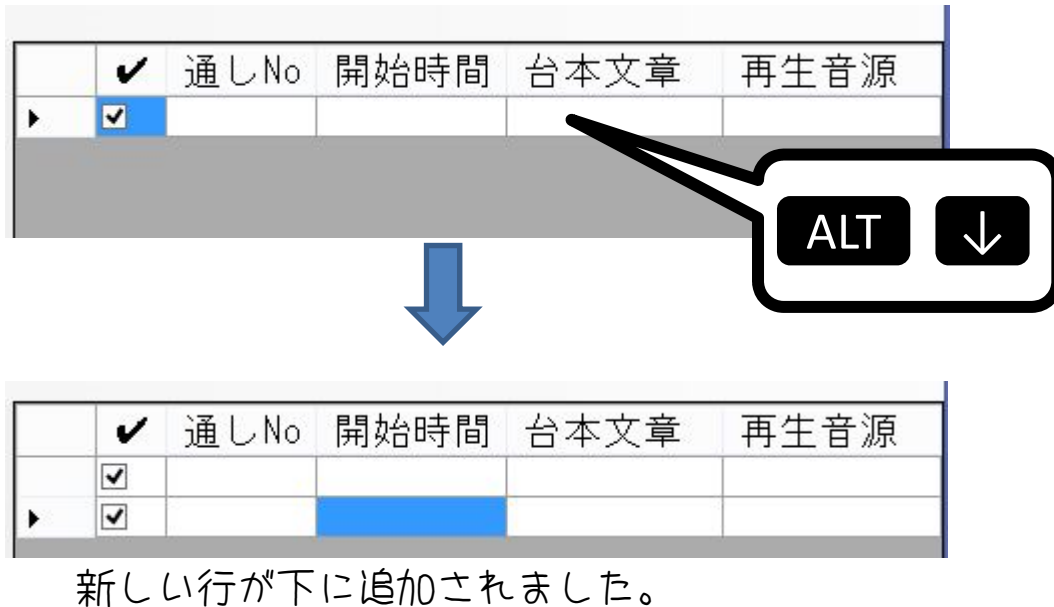
この行を一番最初に入れます。
これが録音時に吹き込む「読み上げ文章」になります。

【再生音源】

台本文章を読み上げた音声ファイル (waveファイル) を
選びます。

■ 新しい行を追加するには

- 1 挿入したい行で、 [ALT] + [↑] や [ALT] + [↓] を押します。



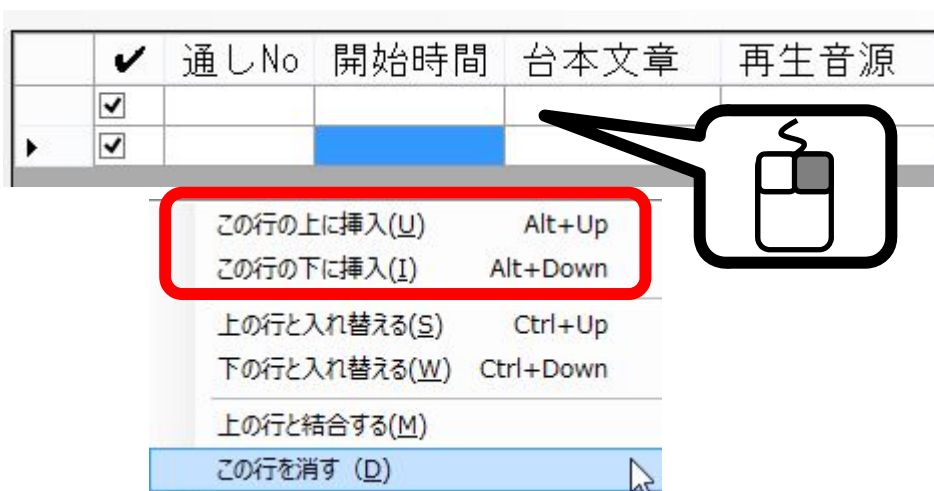
	✓	通しNo	開始時間	台本文章	再生音源
▶	✓				

↓

	✓	通しNo	開始時間	台本文章	再生音源
	✓				
▶	✓				

新しい行が下に追加されました。

キーボード操作のほかにも、右クリックでも同じ操作ができます。



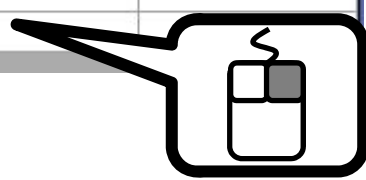
	✓	通しNo	開始時間	台本文章	再生音源
	✓				
▶	✓				

- この行の上に挿入(U) Alt+Up
- この行の下に挿入(I) Alt+Down
- 上の行と入れ替える(S) Ctrl+Up
- 下の行と入れ替える(W) Ctrl+Down
- 上の行と結合する(M)
- この行を消す(D)

■ 行を消すには

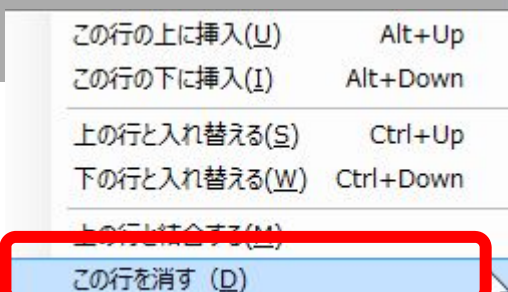
- 1 挿入したい行で、 右クリックを押します。

	✓	通しNo	開始時間	台本文章	再生音源
	✓				
▶	✓				



- 2 削除を選びます。

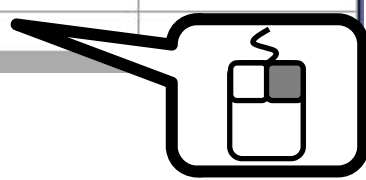
	✓	通しNo	開始時間	台本文章	再生音源
▶	✓				



■ 行を入れ替えるには？

- 1 入れ替えたい行で、 右クリックを押します。

	✓	通しNo	開始時間	台本文章	再生音源
	✓				
▶	✓				



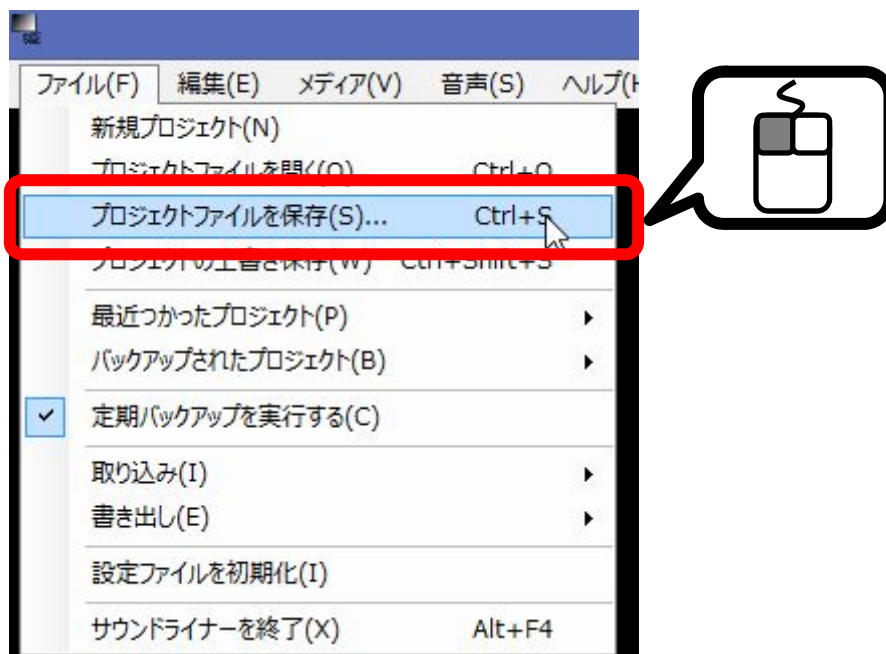
- 2 入れ替え方法を選択します。

	✓	通しNo	開始時間	台本文章	再生音源
	✓				
▶	✓				

- この行の上に挿入(U) Alt+Up
- この行の下に挿入(I) Alt+Down
- 上の行と入れ替える(S) Ctrl+Up
- 下の行と入れ替える(W) Ctrl+Down
- 上の行と結合する(M)
- この行を消す (D)

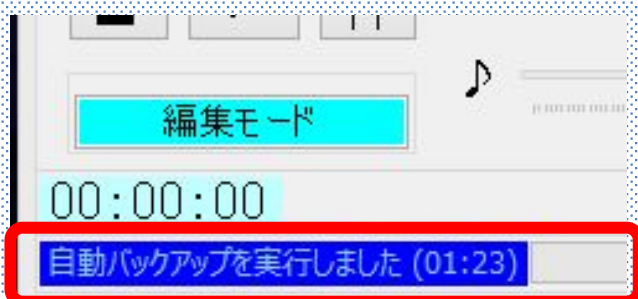
■ プロジェクトファイルを保存する

- ① 「プロジェクトファイルを保存」を選びます



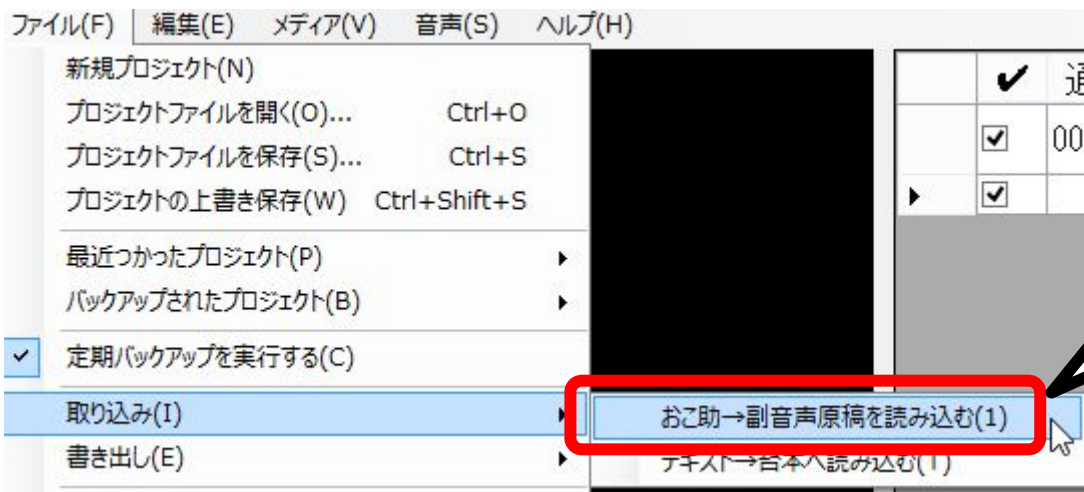
なお、3分ごとに自動バックアップがされます。
(「定期バックアップを実行する」をONにしている場合)

保存状況は、ステータスバーに表示されます。



■ おこ助 (MASC)のファイルがある場合は・・・

- 1 おこ助のファイルを読み込みます。



この機能で取り込まれる文章は、音声ガイド台本にある文章だけです。

この点を考慮し、予め編集をしておいてください。



STEP 3

音声の吹き込み

ねらい

台本に沿って音声を吹き込む方法を学びます。



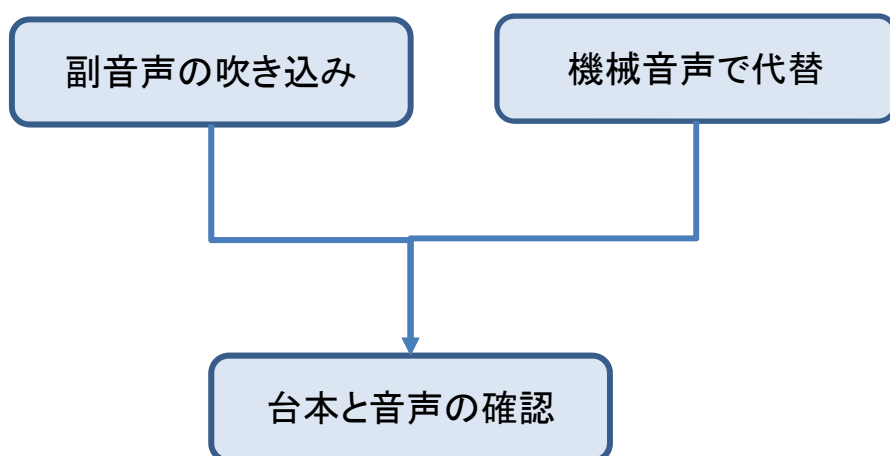
音声吹き込みには、市販あるいはフリーソフトウェアの録音ソフトをつかっても構いません。

その場合は次の設定で録音してください。

44.1kHz (44100Hz) 16Bit ステレオ 2Ch

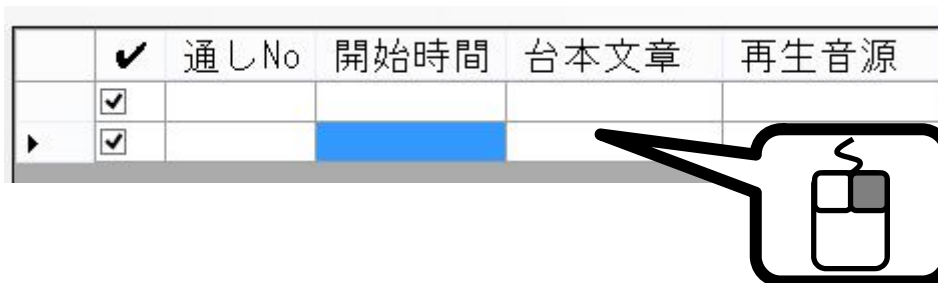
■ 音声の吹き込み手順

次の手順に進めます。

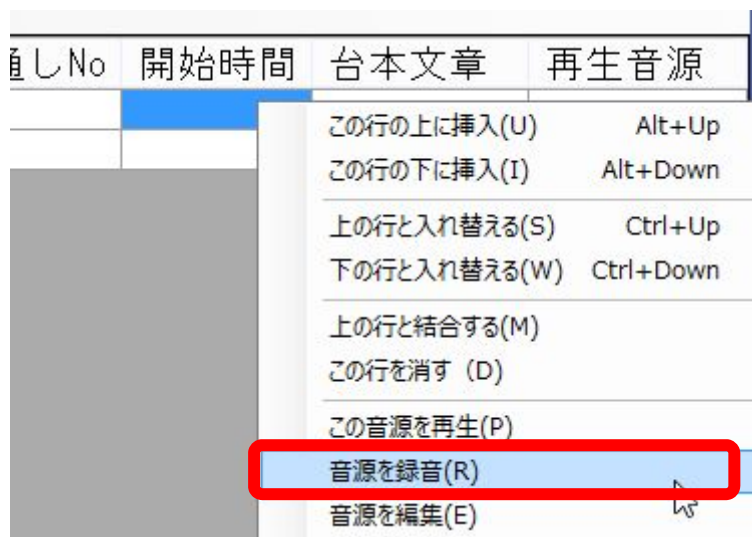


■ 音声を吹き込むには

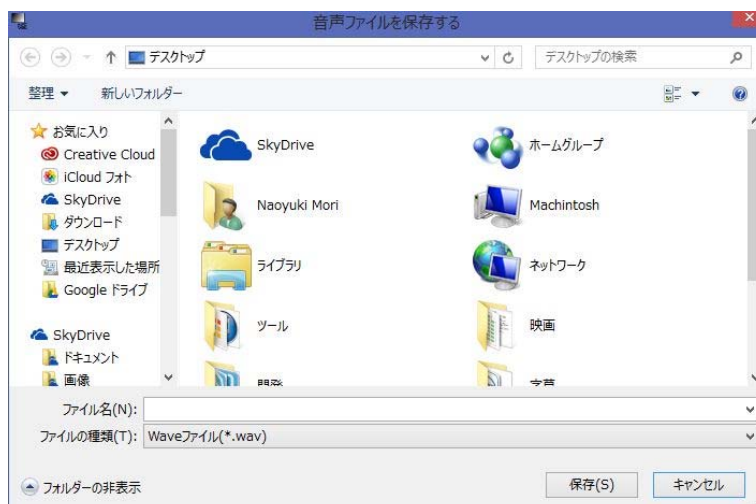
- 1 吹き込む行で、 右クリックを押します。



- 2 録音を選びます。

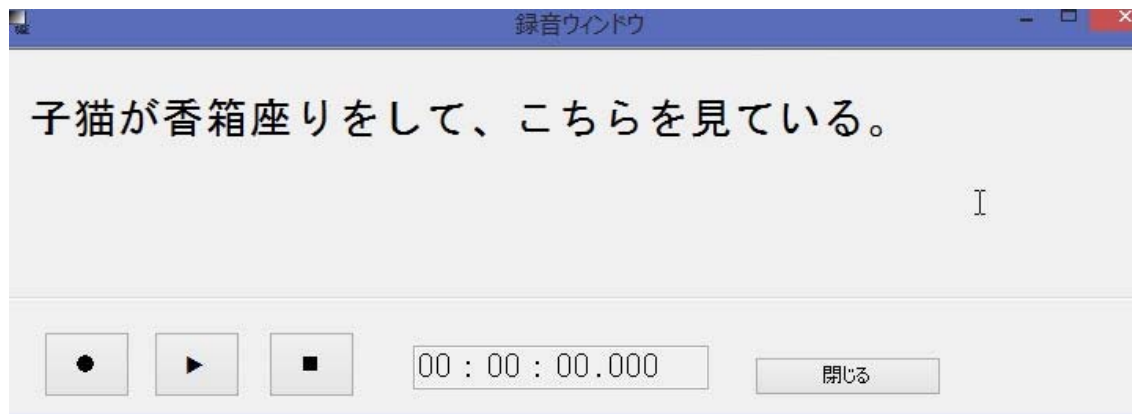


- 3 音声を保存しておくファイルの名前を入れます。
(ファイル名は、通しNoと同じにあるのが楽です)



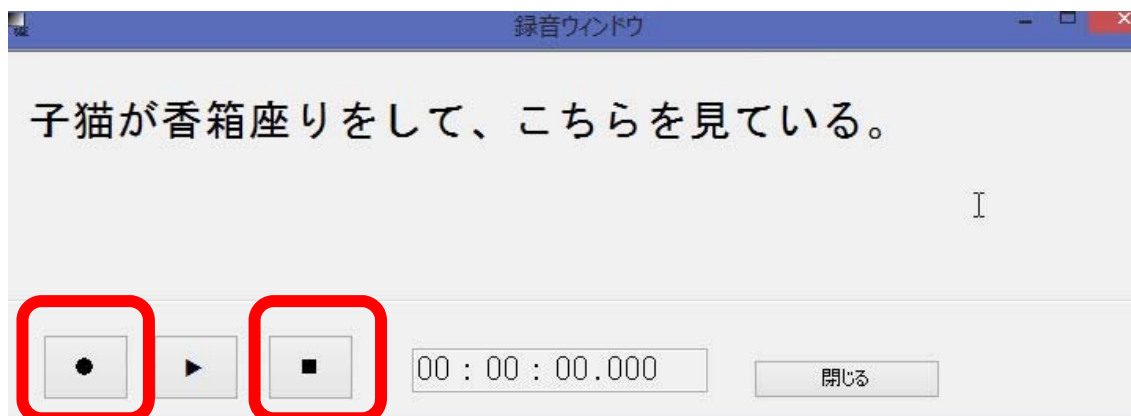
4

録音用のウィンドウが開きます。



5

録音ボタンをおして、セリフを読み上げます。



開始

終了

6

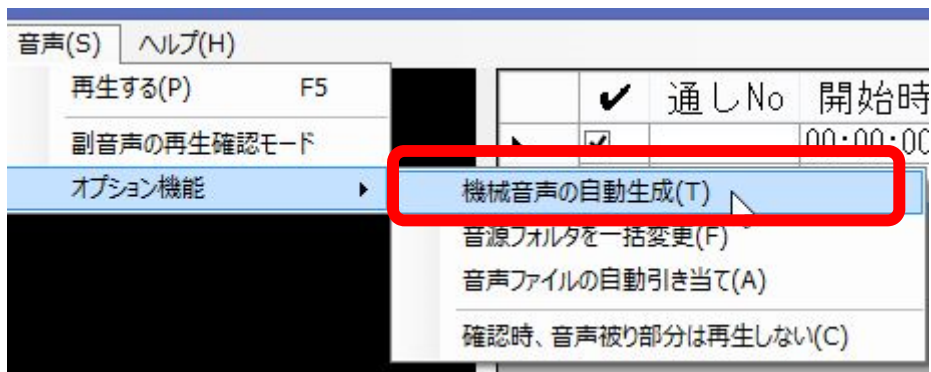
録音を完了し、ウィンドウを閉じます。



■ 機械音声で代替する場合

1

機械音声の自動生成を押します。



機械音声のプラグインが入っていない場合、音声は生成されません。

Microsoft TTS プラグインをいれてください。

なお、簡単に導入するためのソフトがインターネットにあります。

簡単インストーラ (マーチン@まほろば氏 製作)

<http://mahoro-ba.net/e1542.html>



音声ファイルが既に割り当てられている場合、その台本には機械音声は割り当てられません。

すべてを機械音声にしたい場合は、すべての行の音源を外してください。

STEP 4

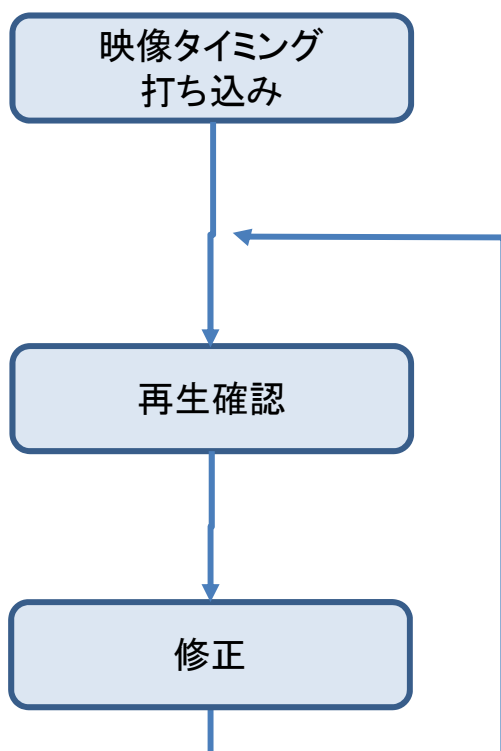
タイミングの合わせ方

ねらい

副音声話すタイミングを映像を見ながら調整します。

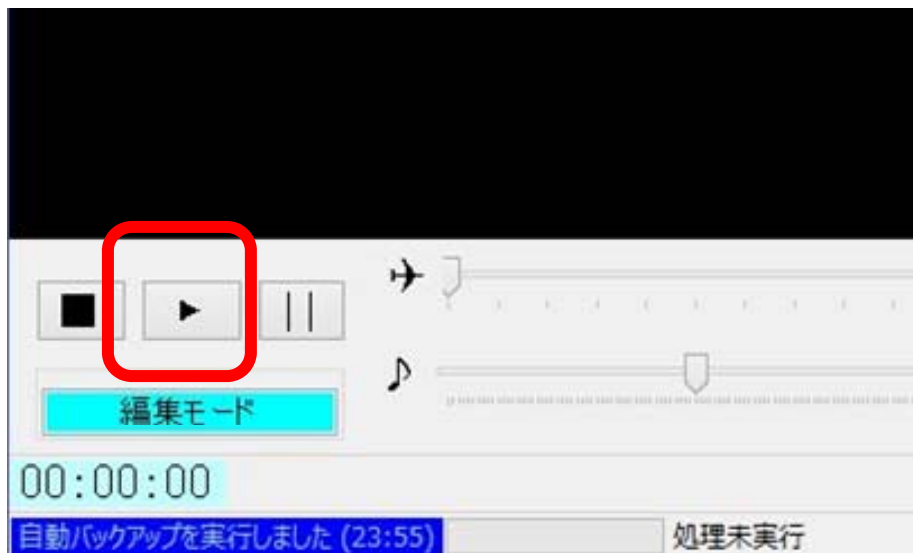
■ タイミングの合わせこみ手順

次の手順に進めます。



■ 音声を再生するタイミングを打ち込む

- 1 映像を再生します。



- 2 副音声を流すタイミングになったら、再生開始のタイミングを記録します。

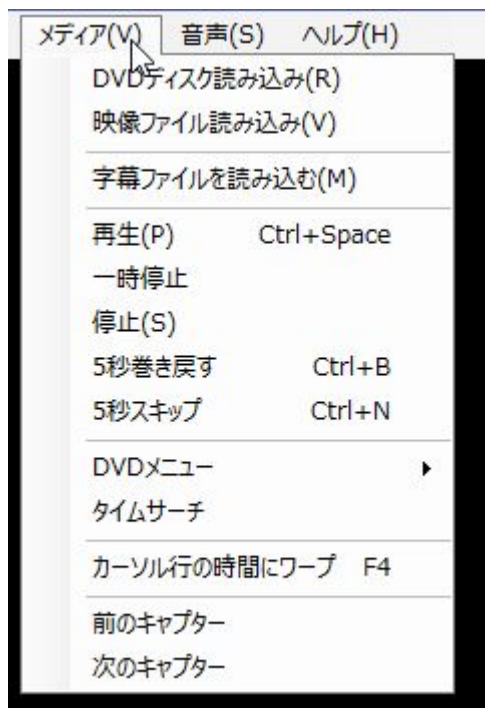
	✓	通しNo	開始時間	台本文章	再生:
▶	✓	1-1	00:00:00	猫が香箱座りをして いる。	

F2

- 3 再生するタイミングが入ります。

	✓	通しNo	開始時間	台本文章
▶	✓	1-1	00:02:00	猫が香箱座りをして いる。

■ タイミング打ち込み時の便利機能

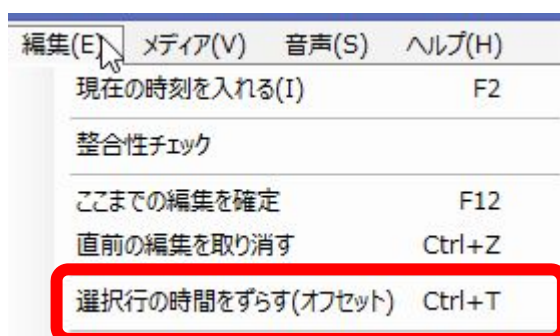


サウンドライナーには編集を効率化するために、様々な機能が搭載されています。

たとえば、[CTRL] + [B] を押すと5秒戻すことができます。これを使うと、タイミングの打ち直しが素早く実行できます。

タイムサーチを使えば、指定した時間から動画再生ができます。

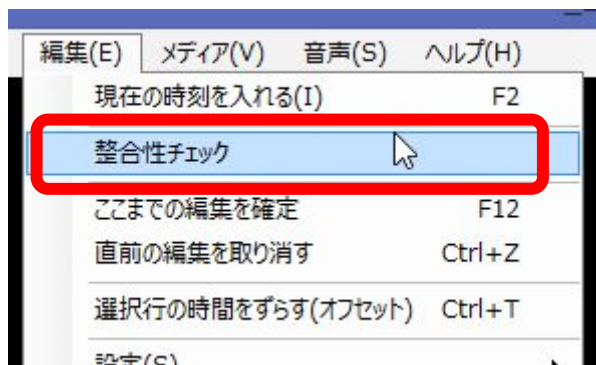
■ 全体的に再生時間がずれた場合



ボタンを押すまでの時間ずれや、映像を差し替えたケースでは、入力した時間を全体的にずらしたくなることがあります。

この場合は、変更したい行（複数可）を選び、時間をずらす作業をしてください。

■ 打ち込みが終わったら

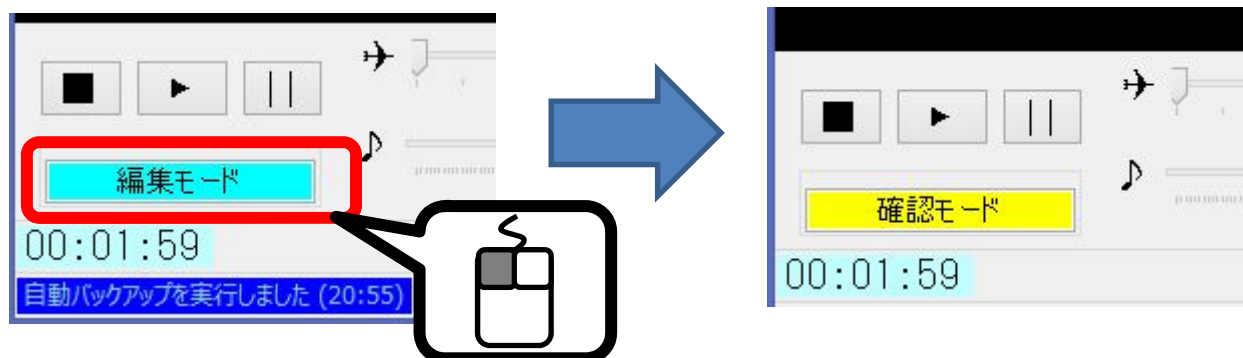


時間の並びがおかしい、音声ファイルが存在しないなどのエラーをチェックできます。

整合性チェックをして、エラーがでたらその行を見直してみてください。

■ 音声を確認する

- 1 再生モードを「確認モード」に変更します。



- 2 再生して、音声を確認します。



STEP 5

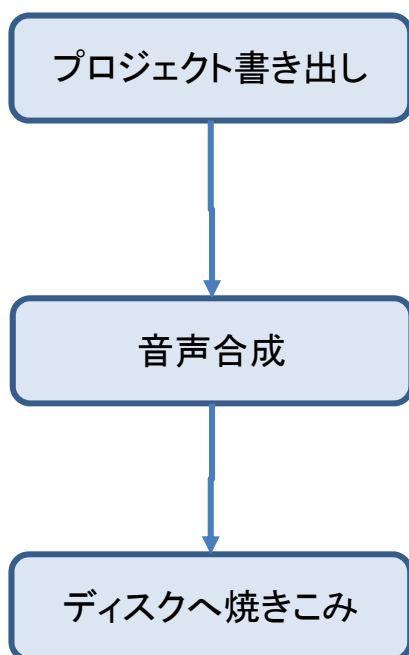
マスタ音声の作成

ねらい

副音声として流すための「映像と同期できる音声ファイル」を完成させる作業（ミックスダウン）を学びます。

■ ミックスダウンの手順

次の手順に進めます。



- ・RadioLine(フリーソフト)を使う
- ・書き出し機能をつかう

■ プロジェクトの書き出し

- 1 書き出しを行います。



- 2 RadioLine Free を 起動します。

RadioLineが入っていない場合には、
下記サイトからダウンロードしてみてください。

<http://soundengine.jp/software/>

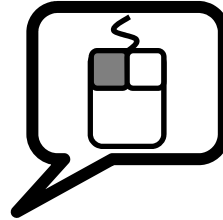
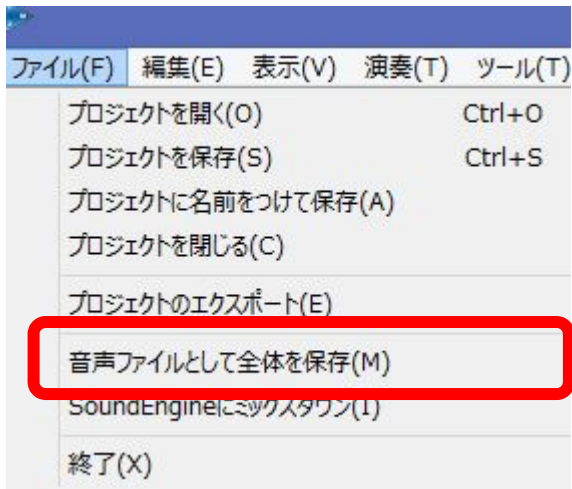


**RadioLine を非商用活動以外で利用するためには、
サポーターチケットの購入が必要とのことです。
(2014年1月現在)**

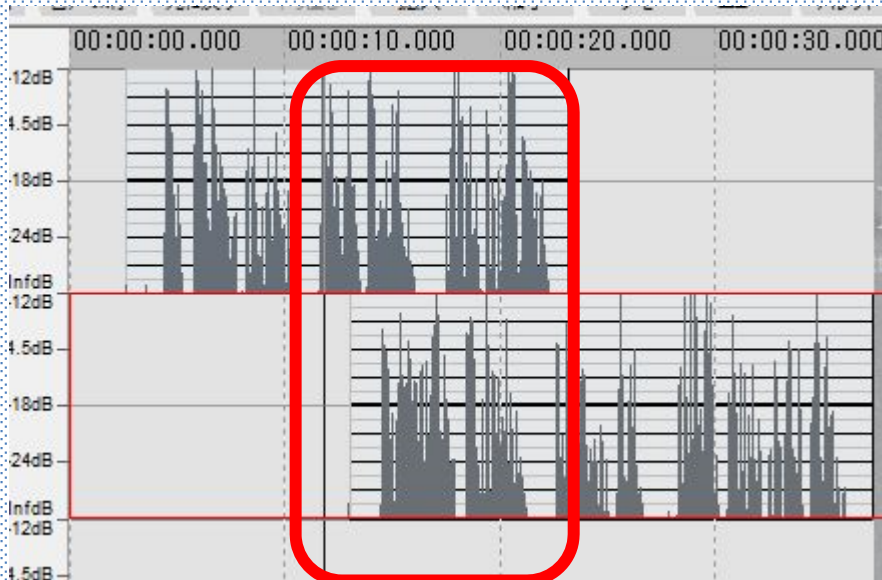
詳しくは、製作者のHPでご確認ください。

3

書き出しを行います。



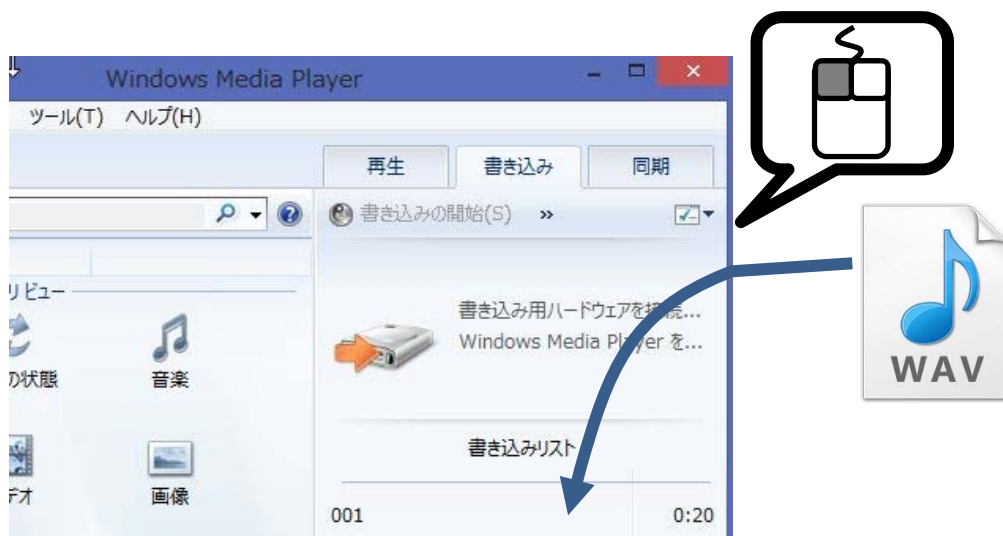
書き出す前に、音声重複していないか、画面を見て確認してください。



音声重複している場所は
このように表示されます。

■ ディスクに焼きこむ

- 1 Windows Media Player の書き込み部分に Wave ファイルを登録します。



- 2 ディスクに焼きこみを開始します。



◆商標等に関する表記

- ・Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- ・Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- ・簡単インストーラ は、マーチン@まほろば氏が製作されたフリーソフトです。
- ・おこ助はNPO法人 メディア・アクセス・サポートセンターのソフトウェアです。
- ・RadioLineは 株式会社Coderium のソフトウェアです。
- ・そのほか、このドキュメントには各社の登録商標、商標が含まれています。

イテから覚える サウンドライナー

Document v1.0

初回製作 2014年1月8日

